

2026年3月16日

コスモエネルギーホールディングス株式会社
京都大学イノベーションキャピタル株式会社

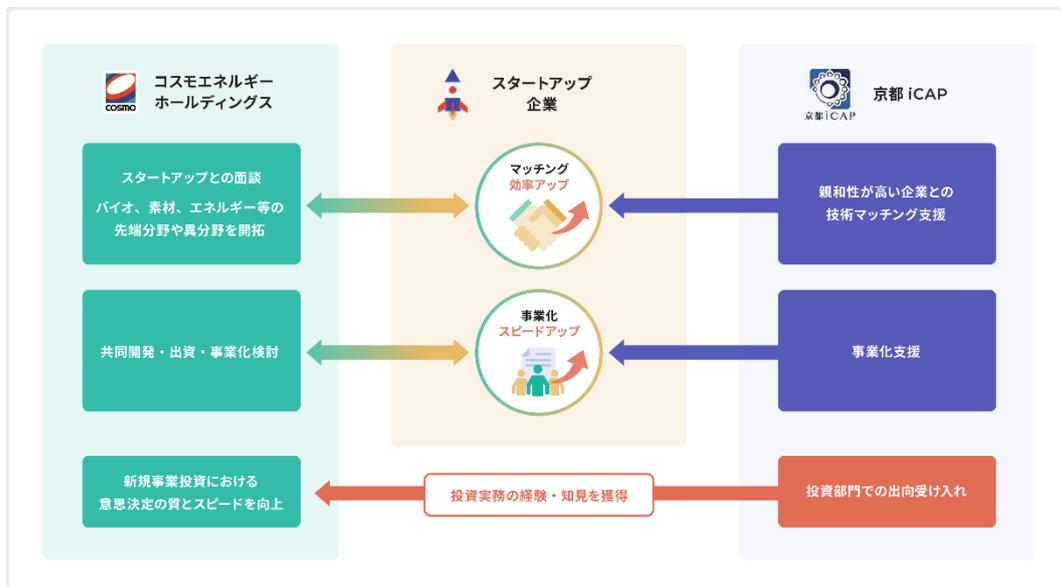
京都大学イノベーションキャピタル設立ファンドに出資
～LP 契約を締結、エネルギー領域および医療・バイオ・AI等の新領域を含む
次世代事業の事業化を推進～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂、以下「コスモエネルギーホールディングス」）は、新エネルギー領域を含む次世代事業の事業化に向け、京都大学イノベーションキャピタル株式会社（代表取締役：楠美 公、以下「京都 iCAP」）が設立するファンド（イノベーション京都2026投資事業有限責任組合）への出資を決定し、3月9日にLP 契約を締結したことをお知らせします。スタートアップを投資先とするファンドへの出資は、コスモエネルギーグループとして初の取り組みです。

■出資の背景と目的

コスモエネルギーグループは、中長期目標「Vision2030」に掲げる「石油事業の競争力強化・低炭素化」の実現に向け、バイオ燃料、温室効果ガス削減、水素などのエネルギー領域を含む次世代事業の事業化推進に取り組んでいます。こうした取り組みの一環として、既存事業の延長にとどまらず、将来の事業シーズを幅広く探索する観点から、スタートアップ投資ファンドへの参画を決定しました。

京都 iCAP は京都大学 100%出資のベンチャーキャピタルとして、エネルギー、素材、バイオ、AI/IoT 等の先端技術分野で高い投資実績を有し、長期的な伴走支援体制を整えています。コスモエネルギーグループは、京都 iCAP との連携を通じて、中核事業であるエネルギー分野に加えヘルスケア、フード、AI/IoT 等の異分野とのシナジーも期待できることから、技術課題の解決に向けた強固なパートナーシップを築けるものと期待しています。



ファンドへの出資による効果

コスモエネルギーグループのコスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司）は、2023年3月に国立大学法人京都大学（総長：湊 長博）と3年間の包括連携協定を締結し※、カーボンネットゼロに向けた新たな事業創出をめざして、次世代エネルギーの安定供給技術などに関する共同開発検討を進めています。今回の出資・連携は、コスモエネルギーグループと京都大学との技術連携強化に位置付けられるものです。

■出資によるメリット

コスモエネルギーホールディングスは今回の出資および連携を通じて、大学発の先端技術分野を中心に京都 iCAP が有する多様なスタートアップおよびアカデミア、参画企業等とのネットワークを活用します。これにより、脱炭素やエネルギー分野に加え、医療、バイオ、AI等の多様な次世代事業の事業化を推進します。また、諮問委員会への参加や出向枠の活用を通じて、投資実務に関する知見や業界ネットワークの強化を図ります。

■今後の展望

コスモエネルギーホールディングスは今回の連携を通じて、脱炭素社会の実現に資する技術革新を中心に据えながら、京都 iCAP の幅広い投資先スタートアップとの協業を積極的に推進し、産学連携による持続可能な社会の実現と新たな価値創出に貢献してまいります。

※ 2023年3月20日プレスリリース「コスモ石油と京都大学、次世代エネルギーの安定供給技術などの共同開発検討に関する包括連携協定書を締結」

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2023/230320.html>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

コスモエネルギーホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ 蒔田、横山

cosmo_pr@cosmo-oil.co.jp